



だっこするよ

令和3年1月

社会福祉法人茂原高師保育園

北区立赤羽台保育園

〒115-0053 北区赤羽台1-4-11-105

TEL 3900-0189 FAX 3907-8690

園長 奥戸 昌子

Everyone is unique 一人ひとり自分らしく生きる

初春のお慶びを申し上げます。昨年新しい新型コロナウイルス感染防止の対応にご協力いただき有り難うございました。引き続き、送迎の際には、マスク着用、玄関でのアルコール消毒、保護者間の密を避けていただきますよう宜しくお願いいたします。

今年も泣いたり笑ったり怒ったり葛藤しながら自分の力で大きくなろうとしている元気な子どもたちに寄り添っていきます。安心と信頼を築き、もともと持っているユニークな個性を笑顔で見守りたい…保護者の皆さんと手を取り、「自分は大切な存在だ。ありのままがいいんだ。」と一人ひとりが自分らしく生きることを応援していきましょう。ユニークとは、本来は「ただ一つしかない」という意味だそうです。金子みすずの詩「みんな違ってみんないい」ですね。

幼児組の「大きくなったねの会」乳児組の「保育参観」にご参加いただきアンケートへのご協力も有り難うございました。行事を通して、私たちの「一人ひとりのこどもを大切に こどものための保育園へ」という保育理念をお伝えできているか振り返りを

しました。課題もまだまだあります。より子どもの内面にに関わり合い、大人自身も学び合いながら、保育の質の最善を目指します。ここで出会えた子ども、保護者、職員、みんなが園の財産です。

開園6年目、汐見俊幸先生東京大学名誉教授は、「子どもは周りから善く見られれば善くなっていく」「どう自身を見つめてどう伸ばしていくのか子ども自身が決める。」「評価でなく理解へ」「子ども理解が普段から出来ていれば子どもは自分を見つけられる。」子ども理解の大切さを12月のゼミで話されました。コルチャック先生の言葉を思い出しました。「子どもはだんだんと人間になるのではなく、すでに人間である」人権を守ること、もう一度初心に立ち返りたいです。新しい生活様式で社会も生活が大きく変化し不安なことも多い今年度でしたが、大人の役割は、何かをインプットするのではなく、その子らしさをアウトプットさせてあげる場を用意することだと「大きくなったねの会」で話し合ったときの子どもたちの姿から強く思いました。

そして、忘れてはいけないこと、今年は、東日本大震災、東京電力の福島第一原子力発電所の事故から10年目となります。どんなに原子力が便利でも未来の子どもたちに何を手渡すのか考えたいと思います。尊い犠牲があったことを忘れず、園としては、命を守る防災力を高めること、218名の乳幼児に自分の命を守る習慣、体力、知恵を育てていきます。天井にニコちゃんマークを貼りました。より安全な初期避難の場所を指定しました。送迎の際に避難訓練と重なった場合は、ニコちゃんマークの下に避難してください。

さて、保護者の皆さんと輪になって対話できる場を作りたいと思ってきました。年間予定表にはありませんが「子どもって不思議で面白い(仮題)」を開きます。2月27日(土)午後2時から4時です。良かったら一緒に子育てのこと、私の失敗談…ワイワイと話しませんか? わらべうた遊びもしたいです。近くなりましたら詳細を発信します。

写真は2020大きくなったねの会 きりん組劇遊び オオカミと10匹の子ヤギです。



あなたのすきなことたくさんみつめてね。
おくと しょうこ

あけましておめでとうございます。
ことしはうしどしですね。
ことしもげんきにたくさんあそびましょう。
うしのようによくたべて、よくあそんで、
よくねて、ぐんぐんおおきくなってください。



謹賀新年

